

## 第2回(令和4年度第2回)みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和5年2月17日(金)午後7時00分～8時00分
- 2 開催場所 オンライン
- 3 参加者 市長及び市民9名
- 4 会議次第 (1) 開会  
(2) 市長あいさつ(市政報告)  
(3) 懇談(フリーテーマ)  
(4) 閉会

### 5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
1		<p>小金井市では安心して看取りをサポートできる体制ができておらず、病院任せとなっていると感じる。市としてバックアップしていただきたいが、市としてやっていこうとの考えがあるか。</p>	<p>市としては十分できていないとの理解である。在宅医療・介護との連携、地域包括ケアシステムを進めていくことは重要である。看取りは、課題としてはあると思っている。ただ、そこまで正直手が回っていない、充分着手できてないというのが現状である。まずは、地域包括ケアをしっかりと進める。それはそれで、しっかりやらないといけないと認識しているところなので、今回ご意見をいただいたことについては、今後改めて考えていきたい。</p>
2	看取りに関することについて	<p>学校では命についての教育が行われていて、誕生の部分に関してはかなり教育されている。しかし、死に向かうところの教育は取り上げづらいとか、そういうことをやろうとしても反対意見が出たりして、なかなか難しいという話も聞く。小中学校で、「がん教育」というような言葉ではなくても、今後亡くなっていく人が増えていく中においては、看取りに関する教育は必要な教育と考えているが、いかがか。</p>	<p>市議会でも過去に何回か「がん教育」ということについて質問された方もいた。小中学校に関することは教育委員会の所管となるため、教育長にもご意見があったことを共有させていただきたい。</p>
3	みんなのタウンミーティングについて	<p>タウンミーティングの報告はどのようなふうにとまとめるのか。例えば、武蔵野市では意見等を吸い上げて回答集のような形でまとめていると思う。そのような感じにしていいただきたい。(意見のみ)</p>	—
4	みんなのタウンミーティングについて	<p>前回(1月)のタウンミーティングの会議録がまだ公開されていないが、いろんな意見が出ており、市の回答を他の方にも共有して欲しいと思うことがたくさんあるので、いつ頃公開されるのか知りたい。</p>	<p>会議録の作成には時間がかかっているが、もう少しお時間をいただきたい。やり方については今後考えていきたいと思う。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
5	フッ素化合物の問題について	報道でも言われているフッ素化合物の件で、市民の声でも出させていただいたのだが、基本的に伝えたいのは、「黄金の水」の検査をやってほしいということである。2006年以来やっていないと聞いている。 国分寺市では公園に設置された昔の井戸の地下水調査をやっている、それを見ると目標値を超えているところが結構ある。小金井市内の井戸もちょっと心配だなと思うところがあるので、市でやった方がいいと思うのだが、いかがか。	国分寺市がどういう状況かは情報として把握している。黄金の水は商工会が管理しているものなので、商工会に対してどういうサポートがあるかなどを考えなければいけないと思っている。ご意見として承りたい。
6	コロナ検査キットについて	コロナの検査キットは、Webフォームで受け付けていると思うが、Webだけではなく、電話でも受け付けた方がいいのではないかと。25件しか受け付けられないのでWebだけにしてしまうと聞いたが、職員が電話対応してそれを入力すればいいのではないかと。	この事業は、東京都が行っているものを補完するような形で始めたものである。東京都が行っていたものだけでは不十分なので、市としても実施してほしいとの話があり、始めさせていただいた。3月までだが、この事業を今後どうするかについてはこれから検討させていただく。
7		事業のイメージを教えてください。	基本的には、市として実施している保育事業の基準に沿った形でやっていただくということが前提となる。それで、どこまで市がやることと同じものを求めるかについては、担当への確認が必要だが、どこでもいいというわけではなく、事業者に一定の基準を設けて、補助金を出すかどうかの決定について審査委員会を設置して、場合によっては現地視察をした上でしっかり事業者を選定するというプロセスを考えている。
8	民設民営の学童の補助金について	小回りのきく事業者ではなく、一定の規模のところを対象にするということか。	前提はあるながらも、公設学童保育所では対応していないような多様な活動や開設場所について、民間事業者の提案を受けることになる。したがって、プラスアルファでこういうことをやりたいとか、民間事業者の得意な分野などを逆に活かしてもらいたい提案なども想定しているところである。公設公営の学童と全くのイコールというのではなく、最低限ルールに沿った上で、あとは民間事業者の知見やノウハウというものを活用してもらっていいですよ、というものである。そういう提案も含めて応募いただいて選定することとしている。大規模化対応ということだけではなく、いろんな選択肢がある方がいいという考え方もあるので、そのように捉えていただければと思う。 公設公営の学童は、言わば第二の家庭という位置づけであると思っている。教育や習い事のようなコンテンツなど、いろいろな特色があってもいいのではないかと。
9	市立保育園のあり方検討について	スケジュール感やアウトプットについては何も記載されていないように感じられるが、どうか。	別冊として予算説明資料があるが、そこにはあり方検討委員会の詳細が若干書かれている。スケジュールとしては、7回ぐらいの会議を想定していて、来年の1月中旬に答申をいただくことになる。条例設置の審議会であり、市長から「市立保育園の役割とあり方」について検討してほしいという諮問を出して、その諮問に沿って議論いただき、答申をいただくという形になる。 現段階では、8月と10月ぐらいにテーマを設けてワークショップをやるかというスケジュールのイメージでいる。おそらく、これについては予算審査の中でもいろいろ議論になるかと思うので、どこかでご報告できればと思う。

	件名	ご意見・ご要望等	市からの回答等
10	保育園のおむつの持ち帰りについて	保育園のおむつについて、他の市区町村では、行政の方で処理をしてくれるようになってきている。23区は全面的に行政が処理をしていて、多摩地区も小金井市に隣接するすべての市が行政の方で処理をしていると思うが、小金井市でも処理をしていただけないか。	多摩地域でも行政で処理している自治体が増えているという現状もあり、私としては行うべきだと思っているので、いつできるのかなどについて調整をしていきたいと思う。 一方で、処理したものをどこに持っていかという場所の課題もあり、燃やす場合は日野市と国分寺市との3市でごみ処理の共同処理を行っている関係もあるため、そこに持って行くのであれば、足並みを揃えなければいけないなど、調整が必要となる。また、それとは別におむつの資源処理という方法もある。行政のおむつの処理は、私としては行うべきものだと考えているので、もう少し長い目で見ていただければと思う。
11	新庁舎・新福祉会館について	庁舎・福祉会館は今後どのような感じで進められるのか。	1月31日に庁舎・公共施設マネジメントの特別委員会があり、その冒頭で6月の定例会の前に事業を再開するための協議の場を持たせていただきたい、要するに全員協議会を5月中に開催したいということを発言させていただいた。今申し上げることができるスケジュールはそれぐらいになる。 積算のやり直しであったりとか、工事予算を出す前には建築確認申請をしないとけいけないとか、外構であったりとか、構造計算に関わらない部分でコストダウンするとか、できる部分は反映させようとか、そういうことも含めて調整しているところである。 スケジュール感としては、まずは5月中に全員協議会を開催して再開の予算を出したいということの説明させていただく予定である。特に、10年間ぐらいの長いスパンでの財政的な見通しが、ずっと課題としてはあげられていたところなので、庁舎・福祉会館建設をしても市民生活に影響がないという財政的な見通しが示せるかどうか、ということになる。全員協議会でそれを示してご理解を頂き、再開の予算を出すという段取りを考えている。
12	お悔やみガイドブックについて	清瀬市ではお悔やみガイドブックというものを作っている。家族が亡くなった時に何をしたらいいかパニックになってしまうが、そういう時に、こういう届を出さなければいけないとか、こういうことをしなければいけないということをまとめていただけると、市役所の対応もしやすいのかなと思うのだが、ご検討いただけないか。	小金井市でもお悔やみガイドブックのようなものはある。清瀬市のものがどのようなものか分からないが、他の自治体のものも見てみたいと思う。
13	自分の居場所について	退職した後に、自分の居場所はどこにあるのかと考える。例えば、男性はあんまりそういうことが得意じゃない方も多いと思うので、そういう居場所は市のどこにあるのか、教えていただけるとありがたい。	目的なくフラッと行って、そこが自分の居場所としても感じられる場所があると一番良い。いろんな地域活動もあり、いろんな分野の審議会もあるので、そういうところに参加すると、地域のつながりができるきっかけにもなる。地域に多様な知り合いがいると、その地域での暮らしや自分自身の可能性も広がると思う。タウンミーティングのような場を通じて居場所をつくるというのも面白いと思う。